



打球の軌道を画用紙で作った4つの台に球を乗せて説明する佐藤さん(右)

最新の卓球技術は

元全日本コーチら講習会
新十津川

【新十津川】中国やヨーロッパの最新理論を踏まえた技術を指導する卓球講習会がこのほど、新十津川中学校で開かれ、空知、留萌両管内の中学生と卓球部顧問が参加した。

空知中体連卓球専門部が主催し、元全日本コーチの佐藤昭久さんと、中国山東省出身で二〇〇一年関西学生新人大会シングルで二位になった王曉亭選手を講師に招いた。講習は二日間で、合わせて二百人が参加した。

佐藤さんはカットやドライフのとき、球のどの部分を打てばどんな回転が生まれるか、球の断面を時計の文字盤に見立て

て説明するなどユニークな指導を行った。また、「一流選手になるには心や行動も一流に」と素直な気持ちや努力の大切さを強調した。

新十津川中二年の上山達也君は「ここで学んだことを生かし、大会での優勝目指し頑張りたい」と今後の練習意欲を見せた。佐藤さんは「顧問の先生の熱心さや生徒たちのひたむきさが目の輝きから分かりました。コツコツ練習してきたことが実を結ぶ手助けになればうれしい」と話した。

(大山幸成通信員)